

第3章 省エネルギー意識調査(アンケート)

《概要》

八幡浜市の市民、小・中学生、事業所を対象に、省エネルギーや環境問題に対する意識調査(アンケート)を実施しました。

I. 調査方法

「八幡浜市地域省エネルギービジョン」を策定するに当たり、まず、市民の方々の省エネルギーに関する意識や、家庭や学校、事業所で取り組まれている省エネルギー活動を調査し、ビジョン策定に役立てるため、また、市民の方々の省エネルギー意識を高めるため、アンケート調査を実施しました。その概要は次のとおりです。

1. 市民アンケート

八幡浜市全世帯から無作為に抽出した1,000世帯にアンケート調査票を送付しました。
・回答者数:385世帯(回収率 38.5%)

2. 小・中学生アンケート

八幡浜市内の小学校4年生374名、中学2年生427名にアンケート調査を実施しました。
・回答者数:小学生357名(回収率 95.5%) 中学生376名(回収率 88.1%)

3. 事業所アンケート

八幡浜市の事業所から、業種、規模を考慮して、50事業所にアンケート調査票を送付しました。
・回答者数:33事業所(回収率 66.0%)

Ⅱ. アンケート調査結果の概要

回答に対する分析結果の概要は次のとおりです。

1. 市民アンケート結果の概要

- 八幡浜市民の省エネルギー意識は、一般的に高いと思われませんが、エネルギー消費量は増加していると答えています。
- 一戸建ての家が多いため、エアコン等の電気機器の所有台数も多くなっています。
- 子育て中の世代である30～40代では省エネルギーは困難で面倒なものとする人が多くなっています。
- 省エネルギーに当たっては、多少高くても省エネルギーになるものを購入したり、工夫したりする人の割合は高いのですが、不便になることには抵抗があるようです。
- 自動車の平均保有台数が1.63台であるのに対して、自転車は1.49台、バイク・スクーターは0.61台であり、自動車に依存する割合が高いようです。省エネルギー意識についても自動車については家電等と比べると低くなっています。

2. 小中学生アンケート結果の概要

- 省エネルギー、環境に関する知識は小学生より中学生のほうが正確であり、省エネルギーや環境に関する教育の成果が現れています。
- 省エネルギー、環境保護の活動への取り組みや意欲については、小学生の方が高い傾向にあり、これは中学生の方が知識を有するだけに、活動の手間やコストに関し、現実的になっているためではないかと思われます。
- 全体に、省エネルギーについては、役に立ち、必要なものとして良いイメージを持っていますが、楽しいものではないと思っている人が多いようです。

3. 事業所アンケート結果の概要

- 全体的に全国と比較すると消極的な取り組みとなっていますが、これは規模の小さい事業所が多いため、省エネルギーや環境に関する専門家がいなかったり、労力や資金をかけられない事によるものと思われます。